



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月30日

上場会社名 スミダコーポレーション株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6817 URL http://www.sumida.com
 代表者 (役職名) 代表執行役CEO (氏名) 八幡 滋行
 問合せ先責任者 (役職名) 代表執行役CFO (氏名) 本多 慶行 TEL 03-6758-2473
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 平成26年8月26日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	37,633	24.4	1,332	93.2	985	99.6	687	—
25年12月期第2四半期	30,250	17.6	689	△10.9	493	24.4	△2,055	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 △163百万円 (—%) 25年12月期第2四半期 945百万円 (121.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	29.61	—
25年12月期第2四半期	△99.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第2四半期	58,445	14,076	22.4	563.80
25年12月期	56,743	14,510	23.9	583.50

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 13,086百万円 25年12月期 13,543百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	5.00	5.00	5.00	5.00	20.00
26年12月期	5.00	5.00			
26年12月期(予想)			5.00	5.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,200	6.7	2,700	59.0	2,100	89.6	1,300	—	56.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期2Q	23,944,317株	25年12月期	23,944,317株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	732,813株	25年12月期	732,667株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期2Q	23,211,573株	25年12月期2Q	20,709,147株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算説明会の開催）

当社は、平成26年7月31日（木）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済を見ますと、中国等の新興国では成長率の鈍化傾向が懸念される中、米国経済は緩やかながら改善傾向が続き、欧州でも回復の動きは緩慢であるものの、マイナス成長から脱し持ち直しつつあります。

電子部品業界を取り巻く状況を見ますと、家電製品関連では、パソコン市場に下げ止まり感が出る中、スマートフォンやタブレット端末は引き続き台数を伸ばしました。車載関連を見ますと、欧州の高級車輸出が引き続き堅調であったことや自動車の電装化の進展等により、電子部品需要が拡大を続けました。また、インダストリー分野では、工作機械等の産業機器関連向けの需要に回復が見られました。

こうした中、当第2四半期連結累計期間の当社グループはインダストリー分野において産業機器、エネルギー、メディカル・ヘルスケア向けの市場開拓、売上拡大を目指し、その戦略の一つとして新たにスミダパワーテクノロジー株式会社を設立し、今後成長が期待できる医療機器関連向けの強化を進めました。

当第2四半期連結累計期間の当社グループを見ますと、スマートフォン、タブレット端末向け以外の家電製品関連は依然として伸び悩んだものの、高級車生産の好調を受け車載関連が欧州、北米で堅調であったことに加え、前年同期に比べ円安/米ドル高・ユーロ高に推移したこと等から、売上高は前年同期比24.4%増の37,633百万円となりました。売上増に伴い、営業利益は前年同期比93.2%増の1,332百万円、経常利益は同99.6%増の985百万円となりました。昨年のドイツでの洪水による損失202百万円を特別損失に計上したものの、特別利益に受取保険金375百万円を計上したこと等から税金等調整前四半期純利益は1,084百万円となりました。四半期純利益は687百万円（前年同期はドイツでの洪水被害の影響や繰延税金資産の回収可能性を見直したこと等から2,055百万円の四半期純損失）となりました。

(報告セグメントの状況)

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの状況は次のとおりであります。

(アジア・パシフィック事業)

アジア・パシフィック事業では、スマートフォン、タブレット端末向け以外の家電製品関連は伸び悩んだものの、インダストリー分野では産業機器向けなどに動きが見られ、ABSに加え、北米等でスマートエントリー向け等車載関連の需要が好調に推移したこと、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比14.9%増の22,346百万円になりました。セグメント利益は同49.8%増の1,407百万円となりました。

(EU事業)

EU事業では、家電製品関連、インダストリー分野では大きな動きが見られなかったものの、スマートエントリー、HIDランプ向け等車載関連が好調であったことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比41.6%増の15,287百万円となりました。セグメント利益は同33.1%増の965百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は58,445百万円となりました。流動資産は商品及び製品が減少したものの、受取手形及び売掛金、原材料及び貯蔵品等の増加により1,897百万円増加しました。固定資産は機械装置及び運搬具等が増加したものの、建物及び構築物、工具器具及び備品等の減少により178百万円減少しました。これにより、当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末比1,702百万円増加しております。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は44,368百万円となりました。支払手形及び買掛金、短期借入金等が増加したことにより、前連結会計年度末比2,135百万円増加しております。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は14,076百万円となりました。四半期純利益687百万円を計上したものの、前連結会計年度末に比べて円高となったため、為替換算調整勘定の純資産の部からの控除額が前連結会計年度末比947百万円増加したこと等により433百万円減少しております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の23.9%から22.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末比279百万円増加し、3,811百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,318百万円(前第2四半期連結累計期間は1,338百万円の収入)となりました。

売上債権の増加による1,953百万円等の資金流出があったものの、税金等調整前四半期純利益1,084百万円、減価償却費による1,572百万円、仕入債務の増加894百万円等の資金流入があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は2,503百万円(前第2四半期連結累計期間は1,434百万円の支出)となりました。

有形固定資産の取得による2,497百万円等の支出があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1,563百万円(前第2四半期連結累計期間は1,285百万円の収入)となりました。

社債の償還による支出560百万円等の支出があったものの、資金調達により短期借入金及び長期借入金がそれぞれ2,197百万円、182百万円純増となったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年2月12日の『平成25年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)』で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

【業績の予想に関する留意事項】

業績予想は、当社及び当社グループが決算発表日現在における将来に関する前提、見通し、計画に基づく予想であり、リスクや不確定要素を含んだものです。従って、今後の事業運営や内外の経済環境の変化、為替レートの変動等様々な要素により、実際の業績が記載の予想数字と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,581	3,847
受取手形及び売掛金	12,840	14,321
商品及び製品	6,082	5,026
仕掛品	1,188	1,378
原材料及び貯蔵品	3,767	4,393
未収還付法人税等	313	169
その他	2,084	2,611
貸倒引当金	△270	△261
流動資産合計	29,588	31,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,756	11,531
機械装置及び運搬具	33,880	34,140
工具、器具及び備品	4,748	4,646
土地	1,393	1,369
リース資産	1,166	1,132
建設仮勘定	1,582	1,423
減価償却累計額	△36,391	△35,802
有形固定資産合計	18,136	18,441
無形固定資産		
のれん	2,671	2,378
その他	1,056	984
無形固定資産合計	3,727	3,363
投資その他の資産	5,204	5,085
固定資産合計	27,068	26,889
繰延資産	86	69
資産合計	56,743	58,445

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,393	7,048
短期借入金	10,843	12,609
1年内償還予定の社債	770	2,420
1年内返済予定の長期借入金	4,523	5,157
未払法人税等	405	373
その他	4,417	4,632
流動負債合計	27,352	32,241
固定負債		
社債	5,420	3,210
長期借入金	6,335	5,829
退職給付引当金	1,269	1,254
その他	1,855	1,833
固定負債合計	14,880	12,127
負債合計	42,233	44,368
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,143	8,143
資本剰余金	7,956	7,956
利益剰余金	4,836	5,292
自己株式	△1,524	△1,524
株主資本合計	19,412	19,867
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46	81
為替換算調整勘定	△5,914	△6,862
その他の包括利益累計額合計	△5,868	△6,780
少数株主持分	966	990
純資産合計	14,510	14,076
負債純資産合計	56,743	58,445

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成25年1月1日 至平成25年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成26年1月1日 至平成26年6月30日）
売上高	30,250	37,633
売上原価	25,166	31,179
売上総利益	5,083	6,454
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	413	464
従業員給料及び手当	1,581	1,941
減価償却費	113	154
研究開発費	562	564
その他	1,723	1,996
販売費及び一般管理費合計	4,393	5,122
営業利益	689	1,332
営業外収益		
受取利息	8	6
受取配当金	0	0
デリバティブ評価益	130	—
その他	17	5
営業外収益合計	156	12
営業外費用		
支払利息	220	206
為替差損	53	8
デリバティブ評価損	—	30
その他	79	113
営業外費用合計	352	359
経常利益	493	985
特別利益		
固定資産売却益	3	16
受取保険金	131	375
特別利益合計	135	391
特別損失		
固定資産除売却損	8	4
事業構造改善費用	—	10
社会保険料追加負担金	—	75
災害による損失	569	202
特別損失合計	578	292
税金等調整前四半期純利益	50	1,084
法人税等	2,044	335
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,993	749
少数株主利益	62	61
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△2,055	687

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,993	749
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	35
為替換算調整勘定	2,930	△947
その他の包括利益合計	2,939	△912
四半期包括利益	945	△163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	883	△225
少数株主に係る四半期包括利益	62	61

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	50	1,084
減価償却費	1,368	1,572
のれん償却額	162	169
受取利息及び受取配当金	△9	△6
支払利息	220	206
デリバティブ評価損益 (△は益)	△130	30
売上債権の増減額 (△は増加)	△473	△1,953
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△298	△148
仕入債務の増減額 (△は減少)	963	894
その他	△59	△121
小計	1,794	1,728
利息及び配当金の受取額	9	6
利息の支払額	△197	△192
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△266	△223
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,338	1,318
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,413	△2,497
有形固定資産の売却による収入	13	27
投資有価証券の売却による収入	41	—
関係会社株式の取得による支出	△21	△1
その他	△55	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,434	△2,503
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	89	2,197
長期借入れによる収入	580	2,043
長期借入金の返済による支出	△1,105	△1,860
社債の発行による収入	600	—
社債の償還による支出	△500	△560
株式の発行による収入	1,839	—
配当金の支払額	△191	△231
その他	△25	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,285	1,563
現金及び現金同等物に係る換算差額	404	△99
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,594	279
現金及び現金同等物の期首残高	2,557	3,531
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,152	3,811

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額に前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間（自平成25年1月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	アジア・ パシフィック事業	EU事業	
売上高			
外部顧客への売上高	19,455	10,794	30,250
セグメント間の内部売上高又は 振替高	642	707	1,349
計	20,097	11,502	31,599
セグメント利益	939	725	1,664

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,664
全社費用（注）	△975
四半期連結損益計算書の営業利益	689

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

注記すべき事項はありません。

II. 当第2四半期連結累計期間（自平成26年1月1日 至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	アジア・ パシフィック事業	EU事業	
売上高			
外部顧客への売上高	22,346	15,287	37,633
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,245	802	2,047
計	23,592	16,089	39,681
セグメント利益	1,407	965	2,373

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,373
全社費用（注）	△1,040
四半期連結損益計算書の営業利益	1,332

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
注記すべき事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。